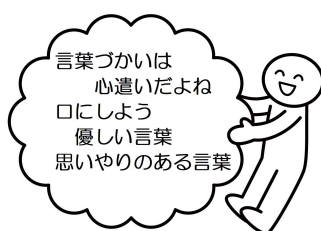


# さくら



令和8年4月20日(月)

## 一つの言葉



時折、高野山に参ります。わが家から自動車やバイクで1時間30分程度で到着することができる距離。その道中、いつも立ち寄る「はなさかドライブイン」で素敵なポストカードを見つけて購入しました。そこに書かれていた言葉を紹介します。

一つの言葉にキズついて 一つの言葉に後悔し  
一つの言葉に気がついて 一つの言葉に励まされ  
一つの言葉に涙ぐむ そして 一つの言葉で幸せになれた

作者：にわ きゅうぜん（詩画家・イラストレーター）

皆さんは、誰かの一言に心を締めつけられたり、自分が発した言葉に後悔したことはありませんか。逆に、心のこもった言葉がけをいただき、目の前が明るくなった経験もあることでしょう。

私の中学時代の恩師は、「言葉は刃(やいば)にもなれば薬や栄養剤にもなる」と教えてくれました。使い方を誤れば自分も他人も深く傷つけてしまう。しかし、思いやりのある優しい言葉は、誰かの傷ついた心を癒やし、元気にすることができるということです。

日本には、言葉には霊的な力が宿るという「言霊(ことたま)」という考え方があります。これは、発した言葉が現実世界に影響を与えるという考えです。だからこそ、自分が発する言葉には気をつけなければなりません。そこには心遣いが必要となります。

相手を思いやる心があれば、自然と言葉は優しく、丁寧なものになります。逆に、相手を軽んじれば、言葉はとがり相手を傷つける刃に変わります。言葉を選ぶということは、「相手をどう大切に思うか」ということなのです。

皆さんが発する一言が、誰かの心を優しく包み、その人の一生を支えるものになるかもしれません。自分自身の言葉が持つ力を正しく理解し、その力を正しく使える人になってほしいと願います。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

